

りょうわ小町インタビュー

令和4年6月23日

建設業界で働く女性がどのような思いで、日々どのような仕事をしているのかを、インタビューを通して紹介する取り組みです。今回は若手社員が多く配属されている現場でインタビューを行いました。仕事や小町活動に対する意見などを伺っていきます。



本日のインタビュアー

小舟 由貴(総務部)、荒木 采香(総務部)、幸喜 舞凜愛(建築部)



大阪運輸(株)海外医薬品GDP対応倉庫新築工事作業所

◆新入社員インタビュー 澤田 晴人さん

現場での主な仕事

KY用紙の記入確認・施工写真の撮影
揚重作業の監視・レッカー使用時の監視
不安全行動をしている人への声掛け

実際に現場で働いてみて思うこと・感じることは？

先輩や上司からの指示に、基準や許容範囲等、個人差があり少し戸惑うことがありました。そのため、分からないことや気になったことがあった時には質問し、疑問を解消するように努めています。

所長や先輩方の印象は？

質問も雑談もしやすく、とても優しい先輩方です。現場の雰囲気良く、仕事がしやすいと感じています。

建設業の魅力は？

平面である図面から立体的に実際に建築物が建っていく過程に携われることが建設業の魅力だと思います。加えて、個人的には大きな乗り物が入ってくるのを見ていると楽しいと感じます。また、今の現場では、鉄骨建方で使っているクレーンが、最終的に狭い現場のどこに据えられるのか等の施工手順がとても気になるので、そういった過程も建設業の魅力ではないかと思います。

仕事の面白さややりがいは？

施工管理としてのやりがいはまだ実感できていませんが、これから感じていくと思います。

今後の目標は？

2級・1級施工管理技士の取得を目標に掲げているため、知識と経験を身に付けていくことです。また、1年目だから目をつぶっていただいている部分が多々あると思いますので、そういった部分を直していく所存です。

上司・先輩からのコメント

先輩の指示を聞き、よく働いてくれています。まずは各工事を見てどんなことをしているか覚えてほしいです。わからないことは何でも聞くと良いと思います。職人さんと話すことでコミュニケーションもとれるかと思います。若いみなさんに言いたいことは、質問しやすい立場である若手のうちに、もっといろいろなことに興味を持ち、先輩・上司・職方を質問攻めにしてほしいです。成長を期待しています。



◆若手社員インタビュー
辻 大飛さん



現場での主な仕事

朝礼前の新規入場者教育
昼礼の司会・墨出し
安全設備の取り付けなど



入社から1年経ち、現場で働いて思うこと・感じることは？

1年目での様々な経験から、ある程度の知識や技術が得られていると、現場に出る度に実感しています。また、それなりに知識や技術が身についたことによって、現場のことを以前より理解することができてきたため、現場監督という仕事の楽しさが日に日に感じられています。ふたつの新築工事を経験し、元請時と下請時の安全などに関する徹底ぶりに違いを感じました。

以前配属されていた現場にあった安全書類などは、現在配属されている現場ではすべてグリーンサイトで電子管理されており、元請会社が管理しているものもあるため、想定していたよりも事務仕事が多く拍子抜けしてしまいました。

入社以降、働く中で自分が感じる変化や成長はありますか？

職方さんと専門的な話をしている時や、これまで携わった建物がS造であったため、工事の過程に既視感を感じ、以前よりも分かることが増えていると気づいたときに、新しい知識や経験が身についていることを実感して成長したと思います。理解できることが増えてくると少し嬉しいです。また、業務に思いのほか力仕事が多く、初めのころは辛く感じたり、担当していた昼礼の司会で緊張することもあったりしましたが、今では随分慣れてきたことに変化と成長を感じます。

所長や先輩たち、後輩の印象は？

上司や先輩方はとても親しみやすく、分からないことも伺いやすいです。ミスや不手際があったときにはきちんと叱って、教えてくださるので、その時々指摘していただいたことを意識し、改善できるよう前向きに取り組んでいます。また職方さん方も、仕事について質問すると快く教えてくださいます。後輩の澤田さんは真面目で気になったことはすぐに質問してくれるので、分かりやすく伝えるよう心がけています。いい先輩ができていいのかは分かりませんが、頼りになる先輩になれるよう努めています。

今後の目標は？

仕事では、躯体施工図を描いたり、図面チェックを任されたりするようになりたいです。そしてゆくゆくはRC造の施工図にも挑戦してみたいと思っています。その他にも、建築士や2級施工管理技士の資格の取得を目指し、日々勉強に励んでいます。

より効率よく仕事をするため、新しいアプリ等を導入するとしたら、どのような利便性があれば、使いたいと思いますか？

現場内で撮影した写真が自動的に現場のどこで撮影されたのか認識され、施工図に撮影箇所が反映されるような、施工写真アプリがあれば、大変便利だと思います。効率が上がることが期待できるため、新しく操作を覚えなければならぬとしても、使ってみたいと思います。

上司・先輩からのコメント

先々の行動を理解し、現場で動いてくれます。ひとつでも得意分野があればそれが強みになって重宝される存在になると思います。大人しい印象がありますが、もっと自分を前面に押し出してもいいですよ。



◆中堅社員インタビュー

井上 征河さん



現場での主な仕事

1, 2年生の教育・墨出し
鉄骨建ち確認
職方さんへの指示
図面確認・打合せ



これまでの経験を経て 思うこと・感じることは？

打ち合せや段取りをするにあたって、
前後の工程や様々なことを自分が把握
しておかないと話ができないので、
把握しておくことが必要だと強く感じ、
以後気を付けています。

現場で担当している仕事の一つに後輩の教育とありますが、 難しさを感じることはありますか？

6月から配属された1年生は、教える勉強にもなると考え、基本的に2年生に任せつつも、時折干涉するようにしており、主に今年2年生になった3人を教育していました。2年生、3人がこの現場に配属されたのは、それぞれ別の現場で経験を積んだ、1年生の冬の段階であったため、任せられることもあり難しさはあまり感じませんでした。
ただ、1年生が初めての現場で、一から教えなければならなかった場合は少し難しく感じたと思います。

入社以降働く中で自分が感じる変化や成長はありますか？

覚えることは非常に多くて大変ですが、その分知識を習得できたときに成長を感じます。ただ、今まで現場での作業がメインで、図面作成や図面チェックを行えていないため今後次席となったときに不安です。
最近は、補助していただきつつ、業者さんとの打ち合せに参加し、工程や段取りを任されています。ずっとやりたかった仕事だったので、任していただいたときは嬉しく思いました。
また、最近後輩を見ていて、学生と社会人の違いは「責任」だとよく感じます。現場監督という職業は経験年数だとばかり思っていたのですが、取り組み方や収収力次第で成長速度は大きく変わることがわかりました。

仕事の面白さややりがいを感じることは？

自分の携わった建物が完成した時はやりがいを感じます。

今後の目標は？

現時点での目標は、2級施工管理技士の取得です。

建設業で女性が果たす役割についてどのようなことを期待しますか？



樋口さん：男性が気付かず女性が気付くことが多々あると思うので、女性が進出することでより建設現場の環境も良い方向へ変わることを期待しています。

吉岡さん：女性がいることでいい意味で現場の雰囲気が和む気がします。また、男性では気付かない女性目線での意見を取り入れ現場運営できるとより良くなると思います。

古野さん：女性や男性関係なく、各作業所に従事する現場管理の職務は同じだと思います。経験を積んで作業所長として現場を取り仕切ることを期待します。

まとめ

女性が配属されていたこともあり、現場への女性推進に対する期待値が高いように感じました。現場の雰囲気が良く、社員同士のコミュニケーションも良好に感じられました。インタビューを通しての印象として、若い方たちがお互いに良い刺激を受け合っているように思います。

大阪運輸(株) 海外医薬品GDP対応倉庫新築工事作業所の皆様、ご協力ありがとうございました！